

第55回 技能五輪全国大会

[タイル張り職種 競技課題]

次の注意事項及び仕様に従って、課題に示すタイル張り作業を行うこと。

1 競技時間

標準時間 9時間30分 打切時間 10時間30分

第1日目競技時間（作業時間 7時間）

競技 8時30分～12時00分

昼食 12時00分～12時50分

競技 13時00分～16時45分（15分の休憩含む）

第2日目競技時間（作業時間 3時間30分 ※打切までの1時間含む）

競技 8時30分～11時00分（標準時間）

～12時00分（打切時間）

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「4支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 持参工具等は、「持参工具等一覧表」で指定した以外のものは使用しないこと。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中の服装は作業に適したものとする。（保護帽の着用は無くてもよい）
- (7) 使用モルタルの調合は、選手が行うこと。
- (8) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (9) 作業は周囲の清掃までとし、終了したことを競技委員に申し出て終了時刻を届け出る。
- (10) 作業場内では携帯電話の使用を禁止する。（電源を切ること）
- (11) 作業所は整理整頓し、けが等に注意して安全な作業を心がけること。

3 仕 様

- (1) 作業は、必ず陸墨及び地墨を出してから行うこと。
- (2) 壁の苺・杉・文字・男体山・中禅寺湖のタイル加工は、製作図を作成してから行うこと。
- (3) タイル張りは、次の点を特に留意して行うこと。
 - A 壁面のタイル張りは、接着剤を用い「しごき」塗りを含み二度塗りとする。
 - B 床のタイル張りは、必ず下地を作ること。
 - C 目地幅は、製作図の示す通りに仕上がる様に適宜決定すること。
 - D 壁と床タイルは目通しとする。
 - E タイルの張り代は、慣習に従い適宜とする。
 - F 仕上げは目地掘り清掃し、目地詰め仕上げとする。
 - G タイル張り面の周囲は、タイルの「コバ」が見えるように仕上げる。
 - H タイル加工の切断部の目地幅は、標準目地幅とする。
 - I タイル加工の切り口同士を合わせる。

4 支給材料

番号	品 名	色 名	寸法又は規格	数量	備 考
1	Ⅲ類 SPKC-100NET/B1014(LIXIL)	クリーム	目地込み 100 mm×100 mm	162 枚 (18シート)	壁側面:ベース (予備含む)
2	Ⅲ類 P10-FC75(KY)	コクリコー	目地込み 100 mm×100 mm	90 枚 (10シート)	壁:苺ベース (予備含む)
3	Ⅲ類 P10-FC35(KY)	ル・ヴェール	目地込み 100 mm×100 mm	81 枚 (9シート)	壁:苺のへた ・杉・男体山 (予備含む)
4	Ⅲ類 SPKC-100NET/B1025(LIXIL)	ブラック	目地込み 100 mm×100 mm	9 枚 (1シート)	壁:苺の種 (予備含む)
5	Ⅲ類 SPKC-100NET/B1016(LIXIL)	ライトブルー	目地込み 100 mm×100 mm	189 枚 (21シート)	壁正面:ベース (予備含む)
6	Ⅲ類 P10-FC78(KY)	カルマン	目地込み 100 mm×100 mm	45 枚 (5シート)	壁:とちぎ 文字(予備含む)
7	Ⅲ類 P10-FC45(KY)	ブルー・ロワ	目地込み 100 mm×100 mm	36 枚 (4シート)	壁:中禅寺湖 (予備含む)
8	Ⅲ類 P10-FC37(KY)	リエール	目地込み 100 mm×100 mm	27 枚 (3シート)	壁:逆さ男体山 (予備含む)
9	I 類 JIN-100NET/35(LIXIL)	ブルー	目地込み 100 mm×100 mm	225 枚 (25シート)	床:ベース (予備含む)
10	I 類 JIN-100NET/21(LIXIL)	ピンク	目地込み 100 mm×100 mm	18 枚 (2シート)	床:5(左側) 文字(予備含む)
11	I 類 JIN-100NET/31(LIXIL)	レッド	目地込み 100 mm×100 mm	18 枚 (2シート)	床:5(右側) 文字(予備含む)
12	I 類 JIN-100NET/23(LIXIL)	レモン	目地込み 100 mm×100 mm	9 枚 (1シート)	床:t 文字 (予備含む)
13	I 類 JIN-100NET/34(LIXIL)	グリーン	目地込み 100 mm×100 mm	9 枚 (1シート)	床:h 文字 (予備含む)
14	有機質接着剤		JIS 規格品	1 袋	5kg
15	混和剤(MC系)		JIS 規格品	1 袋	50g～70g

16	普通ポルトランドセメント		JIS 規格品	1 袋	1 袋
17	ホワイトセメント	白色	JIS 規格品	5kg	床用
18	砂（通し砂）		良質のもの	80kg	ふるい砂 4 袋
19	珪 砂 5 号		JIS 規格品	5kg	
20	既製調合目地セメント	白色	JIS 規格品	5kg	壁用
21	既製調合目地セメント	白色	JIS 規格品	5kg	床用

第55回 技能五輪全国大会 タイル張り職種

持参工具等一覧

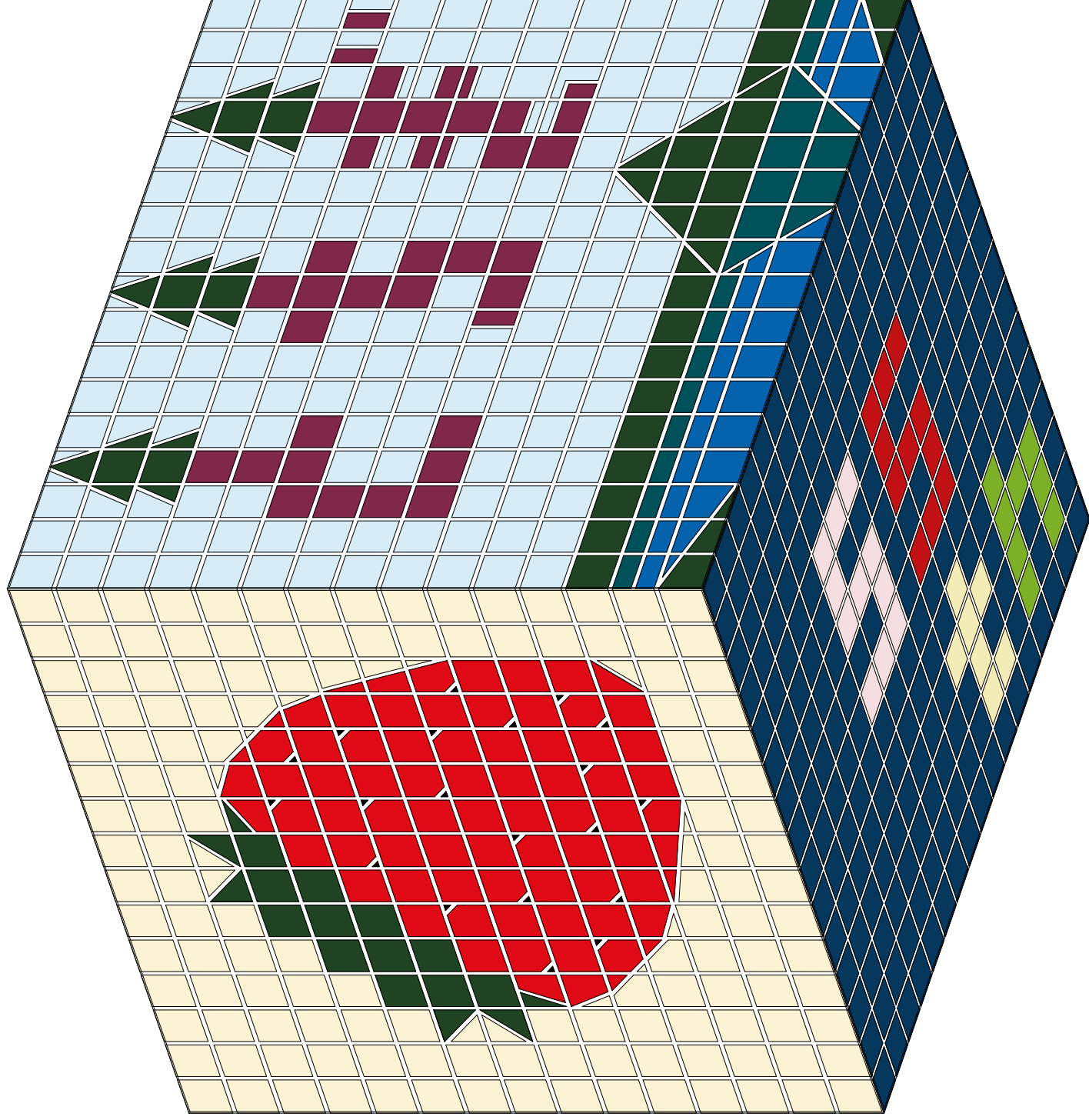
(1) 選手が持参するもの

品名	数量	備考
さしがね	適宜	JISマーク製品で正確なもの
スケール(巻尺・直尺でも可)	適宜	
墨つぼ・墨さし	適宜	
下げ振り	適宜	
水盛りかん	適宜	水平器(水準器)可。レーザー可
タイルごて	適宜	
れんがごて	適宜	
目地ごて	適宜	
中首ごて	適宜	塗りごて・木ごて・ゴムごて・くし目ごて等
柳葉ごて	適宜	四半ごて
こて板	適宜	
金づち	適宜	大金づち(大とん)、小金づち(小とん)各1
タイルカッター	適宜	電動式カッター使用禁止
タイル切り台	適宜	押し切り台でもよい
モザイク切り	適宜	
研磨工具	適宜	金剛といし等
タイル用きり	適宜	
糸	適宜	
ブラシ	適宜	
筆記用具等	適宜	文字・数字・デザインタイル加工製作図 作成用等
コンパス・ハサミ・カッターナイフ等	適宜	タイル加工製作図 作成用等
養生テープ	適宜	
のこぎり	適宜	定木・ベニヤ等切断用
水ひしゃく	適宜	
手ぐわ	適宜	
清掃用具	適宜	ほうき・ちりぼうき・ちりとり・ウエス・スポンジ等
作業用踏板(モザイク板)	適宜	床の施工時に使用する
スペーサー	適宜	タイル加工時に使用する
たたき板	適宜	
皮すき	適宜	
アルミ定木	適宜	

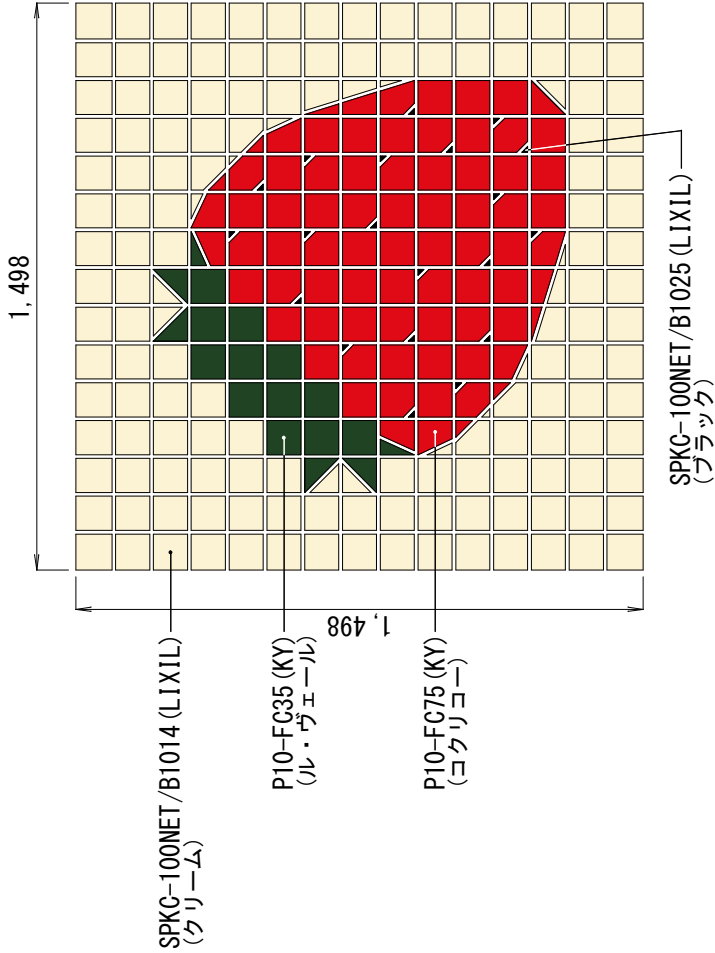
- ※注1 上記以外の工具・器具の使用はできない。
 2 同一種類の工具を予備として使用してもさしつかえない。
 3 型定規の作成は、競技中に会場で行うこと。

(2) 競技会場に準備されているもの

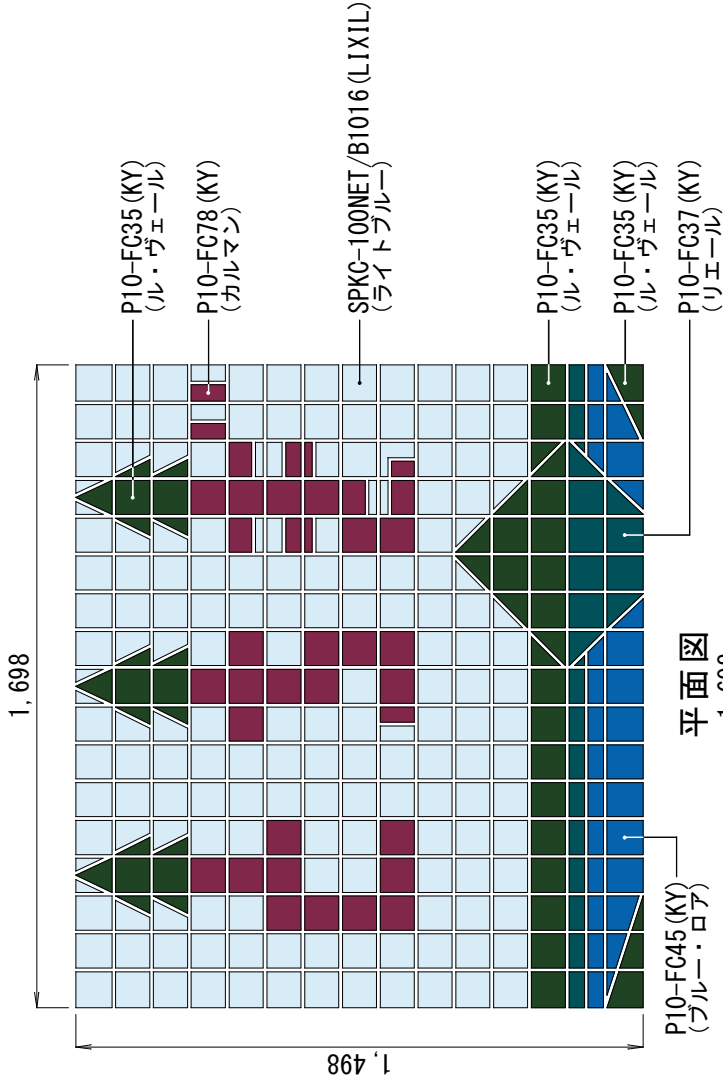
品名	数量	寸法又は規格
作業台	1	1820mm×910mm (タイル加工製作図用, 切物加工)
刃定木	3	1800mm
バケツ	3	約15L入り
ベニヤ板	1.5	1790mm×880mm×5.5mm (タイル加工製作図用)
とろ舟(小)	1	約20L入り (タイル加工 切物用)
とろ舟(中)	1	約60L入り (床モルタル用)
型紙	2	1100mm×800mm (タイル加工製作図用)



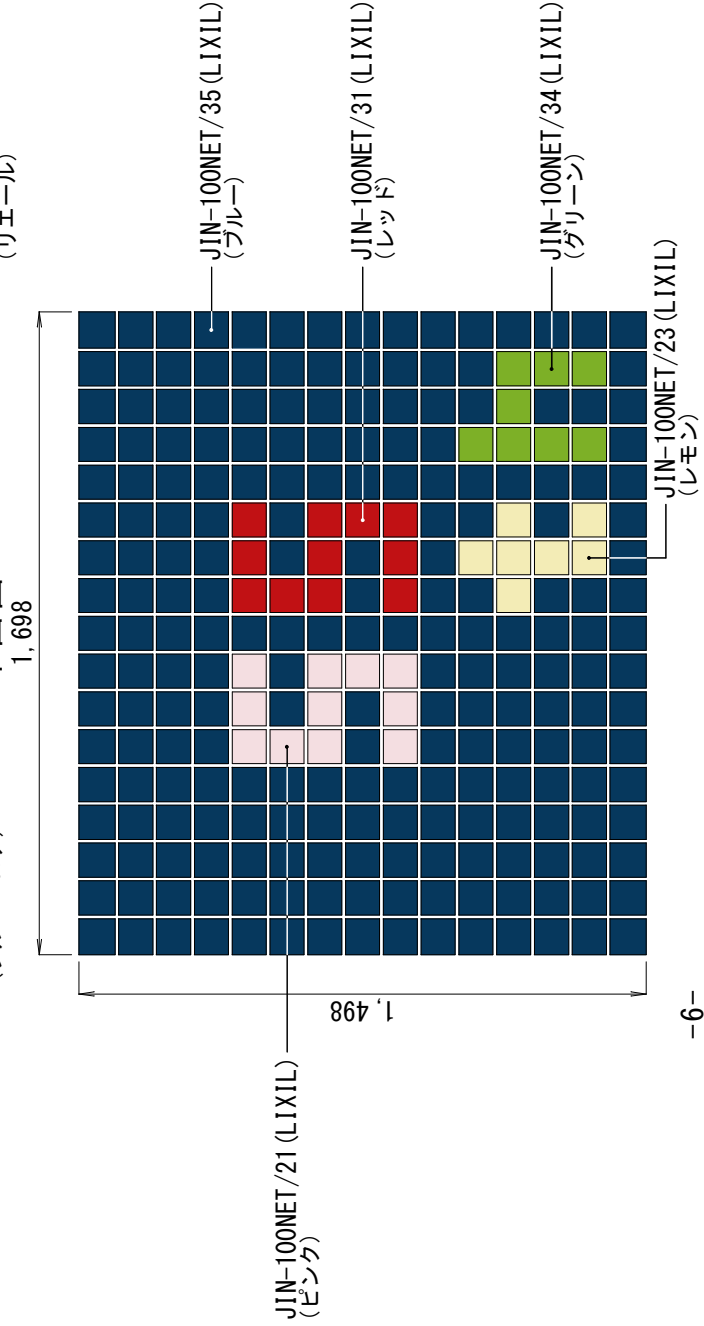
側面図



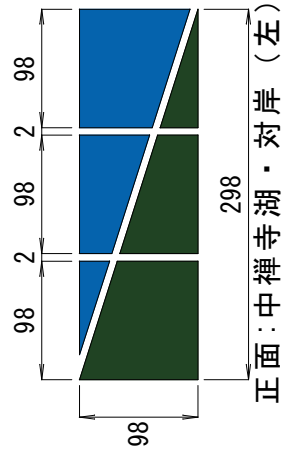
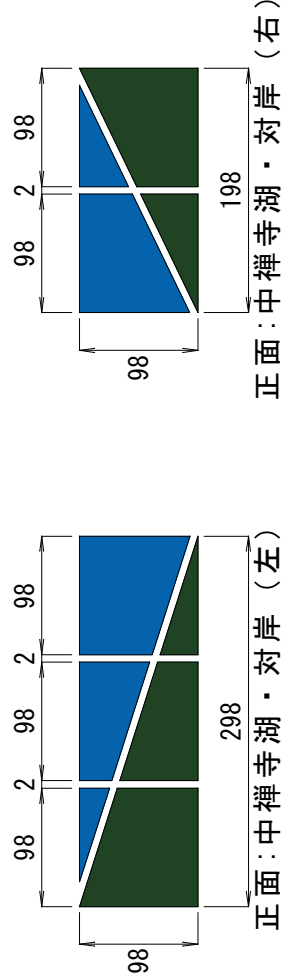
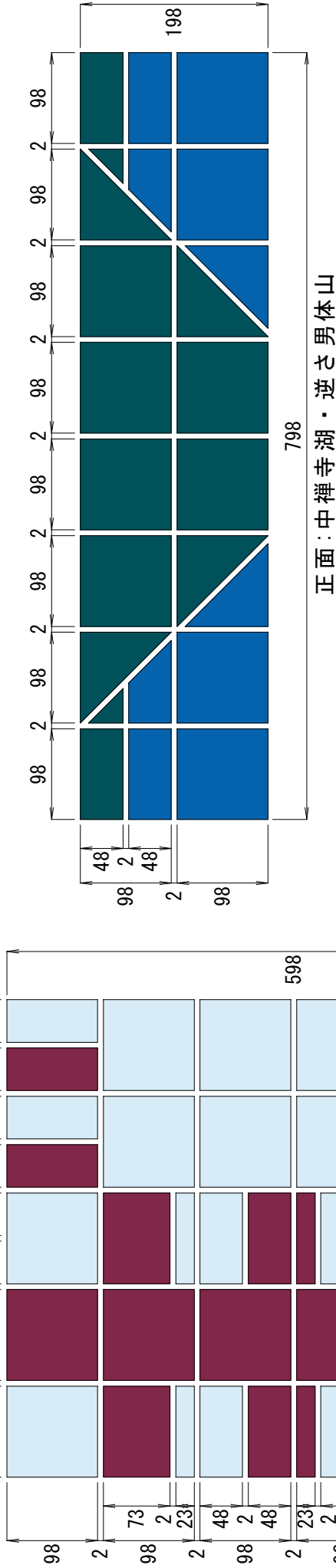
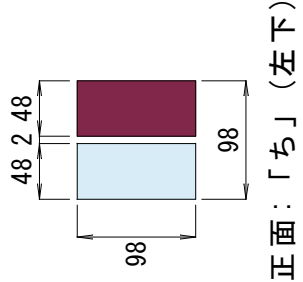
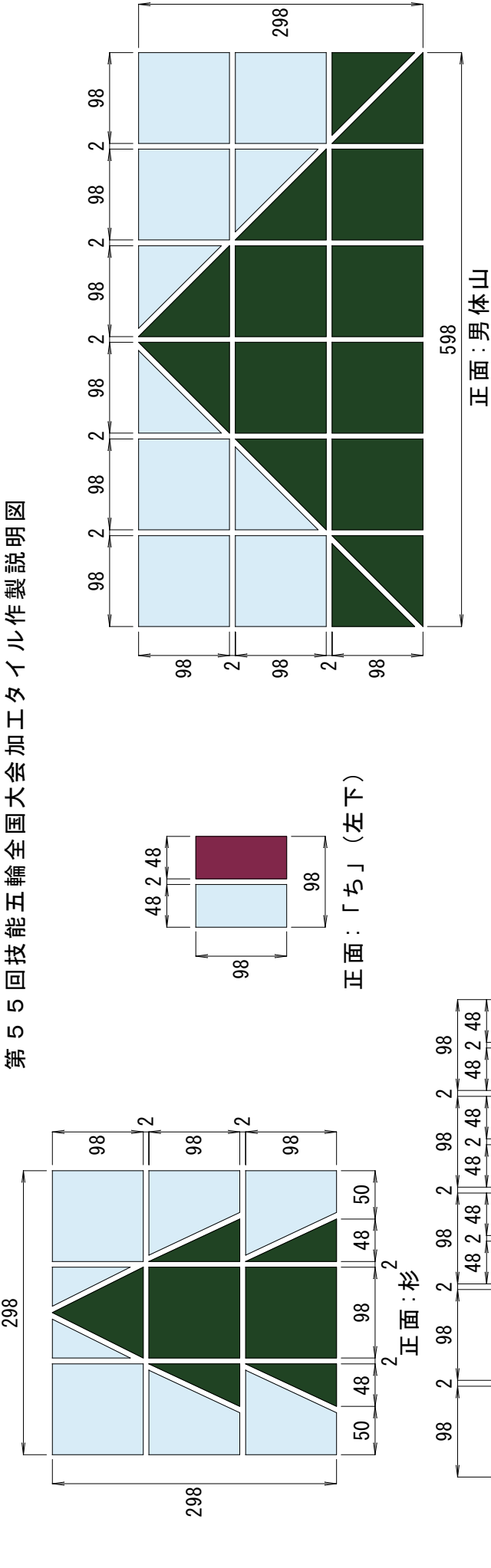
正面図



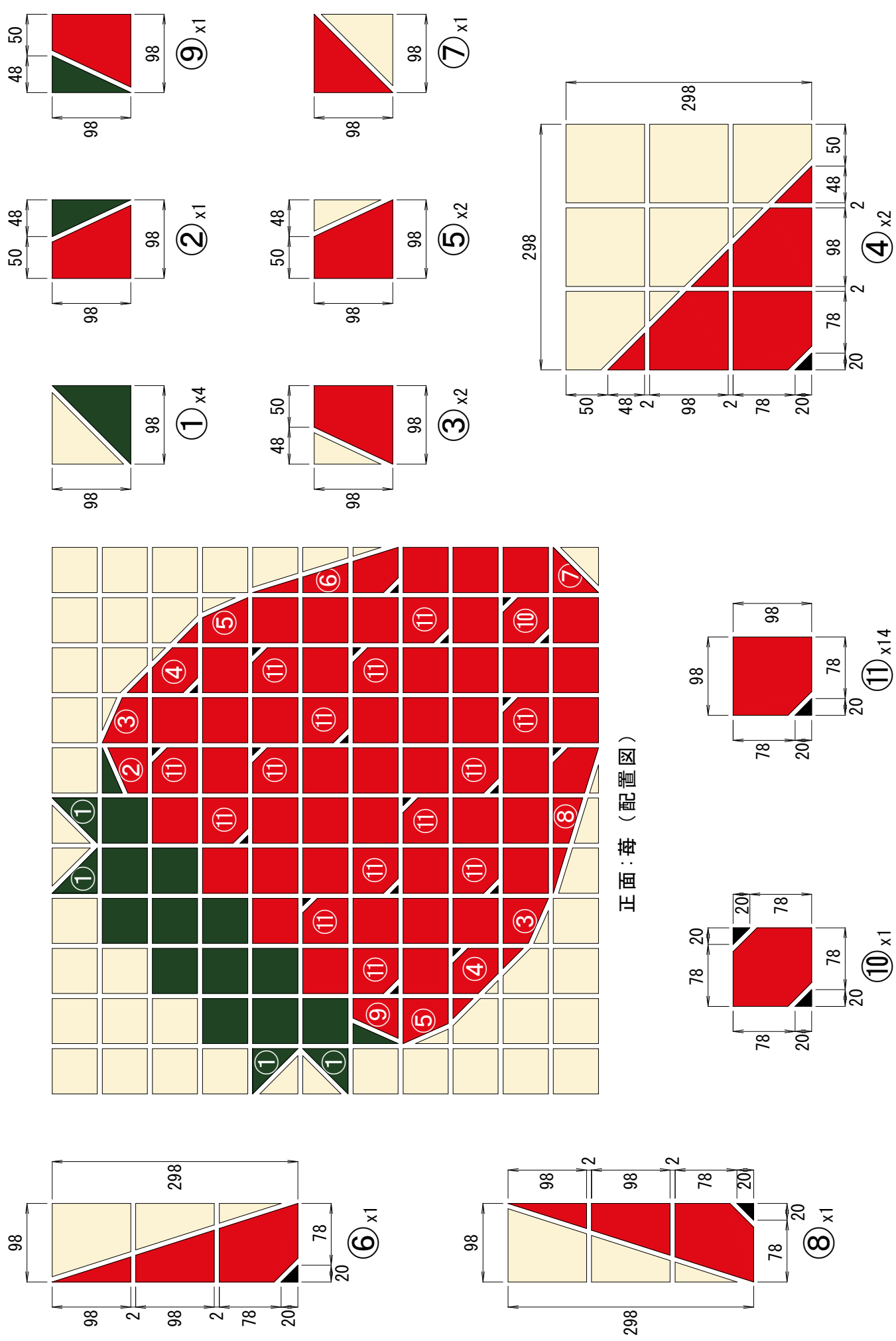
平面図



第 5 5 回 技能五輪全国大会加工タイル作製説明図



第 5 5 回技能五輪全国大会加工タイトル作製説明図



第 5 5 回 技能五輪全国大会「タイル張り」職種採点基準

1 採点項目及び配点

採点項目及び配点は、次のとおりとする。

採点項目			配点
施工法	段取り	手順の良否・墨の出し方・表し方。	100
		図面の見方・作り方。	
		タイルの割付け。	
		タイル加工・仕上げ方。	
	張付け	モルタルの扱い方。	
		こてさばき・張り方・納め方。	
	仕上げ	目地の掘り方・塗り付け。	
		仕上げ方・清掃の方法。	
外観	目地のとおり・目地幅のそろい。		
	水平・垂直・平面精度。		
	張付け周囲のモルタル処理。		
	加工タイルの仕上がり具合。		
	総体的な出来栄え。		
	清掃の良否。		
材料・再請求	追加支給したタイル。		
作業時間	標準時間及び打ち切り時間からの超過時間を測る。		
精度	寸法	任意の 10 箇所を測定する。 測定箇所は、構造全体が 6 箇所（高さ：2 箇所、幅：4 箇所）、加工 タイルが 4 箇所である。	
	角度	角度（90 度）を確認するため、任意の 9 箇所にさしがねを当てその間 隙を隙間ゲージで測定する。 測定箇所は、壁面と床面との角度が 6 箇所、施工面の角度が 3 箇所 である。	
	平面	平滑性を確認するため、施工面や端面の任意の 8 箇所に定規を当て隙 間を測定する。 測定箇所は、施工面が 3 箇所、端面が 5 箇所である。	
	水平・垂直	水平性・垂直性を確認するため、任意の 5 箇所に水準器を水平・垂直 に当てタイルとの間隙の最大値を隙間ゲージで測定する。測定箇所 は、壁面の垂直が 2 箇所、壁面・床面の水平が 3 箇所である。	
仕様誤り (不良施工)	墨出しをしないで作業した。		
	タイル加工用の施工図を作成しないでタイル加工した。		
	課題製作図に基づいて製作していない。		
	割れたり欠けたタイルを張っている。		
	表面に傷のあるタイルを張っている。		

仕様誤り (不良施工)		寸法を誤って切断したタイルを張っている。
		切物の向け方を誤ったもの。
		目地掘りをしていない。
作業態度	不安全作業	自分が怪我をした。
		他人に著しく迷惑をかけた。
		作業に適した服装をしていない。
	整理整頓	整理・整頓が悪い。
		材料・工具等の取扱が悪い。
抜取検査		任意の数箇所におけるタイル裏面のモルタルの付き具合及び回り具合。

2 採点方式

採点は、減点方式とし、「項目別採点基準」に示す採点項目ごとに減点を行い、配点100点から減点総計を差引いたものを最終得点とする。

なお、最終得点がマイナス点となる場合は、0点として処理する。

No.	質問	回答
1	公表されている競技課題(4ページ:持参工具等一覧)について (1)[選手が持参するもの]欄について 『水盛りかん 備考:水平器(水準器)可。レーザー可』とありますが、レーザーとは水盛りかんのレーザーですか。普通のレーザーですか。 (2)[競技会場に準備されるもの]欄について - 課題図(型)は『ベニヤ板』、『型紙』を使って自分で型を作るのか	(1)置き方の水平垂直がでるレーザーを使用しても構いません。参考までに、下記にレーザー墨出し機の例を示します。同等品の使用が可能です。 ・タジマ社製 型番:GT2BZ-i JANコード 4975364048134 ・タジマ社製 型番:GT5Z-i JANコード 4975364048110 (2)ベニヤ板、または型紙(もしくは両方)を使い、競技時間中に自分でタイル加工の製作図(型)を作成いただきます。